



河辺林通信

建部北町の森から

2024年 5月号 No.313

↑満開のアキグミとアオスジアゲハ

滋賀県、大学、企業との連携がうまれています！

ここ数年、遊林会では滋賀県琵琶湖環境科学センターの水野敏明先生、滋賀県立大学の瀧健太郎先生、兵庫教育大学の小倉拓郎先生、IHI株式会社様といった、滋賀県や大学、企業の方との連携がうまれています。2021年に東近江市版SIBに採択いただいてから川の事業を行う上で、水野先生、瀧先生の科学的な知見や研究を元に私たちが学びを深めるために講師や研修でお世話になり、その学びは現在行っているエコツアー「そとイコ！」に活かしております。また、古くから河辺いきものの森は愛知川が氾濫した際には霞堤、遊水地として周辺の村を守る大

きな役割がありました。その防御の一つとして森に残されている「サルオ」と呼ばれる石積みの堤防。小倉先生は、昨今注目されている流域治水の観点から、古人の自然と共に生きる知恵であるサルオに着目し、愛知川の川岸に現存するが忘却されているサルオを調査・集計し再評価すること。そして、自然災害に関する基礎科学の知識や自然災害に関する地域の伝統地を地域住民に理解と認識をしていただくこと、またその成果を子どもたちの環境学習に普及していきたいと調査をされておられます。琵琶湖博物館の学芸員さんとの連携で河辺の森のサルオは1874年の古地図に描かれており150年前から確実に残っていることも判明しました。未来も人々が自然と共生して暮らしていくためにも必要な森だということを調査により実感しています。



↑小倉先生サイエンスエコツアー



↑瀧先生、IHI株式会社様とのいきものの調査（森から愛知川まで）



ており150年前から確実に残っていることも判明しました。未来も人々が自然と共生して暮らしていくためにも必要な森だということを調査により実感しています。

にぎやかな春休みとなりました！

今年の春休みは、恒例のクイズラリー、そして5年ぶりに復活したクイズラリー「超上級編」と、二つのイベントを行いました。

「大きな木であそぼう」では、高学年の子どもたちがロープを使い遊具をつくるところからスタート。2本の木に竹をかける「消防竹」は竹を伐るところからやってもらいました。一から創り上げるため、協力も必要ですし、低学年の子どもたちも遊ぶので危険はないかなど想像力も必要です。春の森で体も頭も使った濃い時間となりました。低学年の子どもたちは、それはもう楽しそうに遊具で遊んでくれました！

クイズラリーの初級編が10問あり、もっと森を回りたい人には、上級編を用意。8カ所の場所に隠された暗号を、写真や謎解きをもとに探し出しました。今年の上級編の暗号解読すると「村守るサルオ」。サイエンスエコツアー研修で教えていただいたことを、クイズという形式を使い、子どもたちに伝えてみました。反応は一緒に来ていた親御さんの方が「ええ～！この森ってそんな役割があったんやね！」と驚き、子どもたちは暗号が解けたことに満足している様子でした。74人の方々がサルオカードを持ち帰ってくれましたよ。

寄贈いただいた3Dプリンタ製の森の地形図も説明で使用しました！



●4月の作業だより

第2土曜日（4月13日）

初めての方5組13名を含む28名での活動となりました。活動は2班に分かれてしました。①「くさはら広場周辺の植物守り隊」オカトラノオがたくさん咲いてくれるようにセイタカアワダチソウを抜くなどの作業をしました。②「ケヤキの林周辺の竹伐り隊」伐った竹は4年生の「やまのこ」で使用させていただきます。



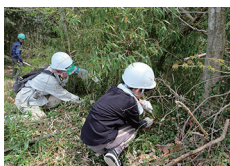
まずは、ラジオ体操



植物守り隊



竹伐り隊



小学生も活躍！

第3木曜日（4月18日）

初めての方1名を含む19名での活動となりました。活動内容は、竹伐り、笹刈り、ツルニチニチソウ駆除、ウッドチップターの試運転をしました。



竹伐り



昼食中

第4水曜日（4月24日）

11名での活動となりました。活動内容は、薪棚の屋根作りと、竹の楽器作りをしました。竹の楽器はネイチャーセンターの入り口に常設していますので、ぜひ奏でにきてください♪



薪棚の屋根作り



竹の楽器作り

5月の定例活動日

5/11 (土)	・観察会（9:00~10:00） ・林内整備など （10:00~12:00）
5/16 (木)	・林内整備など （9:00~15:00） お昼はお弁当あり
5/22 (水)	・林内整備など （9:00~15:00） お昼はお弁当あり

天候や気温などの状況によっては中止や時間短縮になる場合もございます。中止の場合は、ホームページやFBでお知らせします。

4月の観察会

今月の観察会は「河辺いきものの森・お花見ツアーを」をテーマに行いました。というのも、春のこの時期は森を歩けばあちこちで素敵な花々や芽吹きに出会えるのです。テーマを絞れず、それならばお花見ツアーにしてしまおう！と思い、今回の観察会に至りました。森の中では、シュンランの花の香り、ウスノキの愛らしさ、アラカシの新芽の手触り、野鳥の声、くせないハコベやヤブカンゾウの葉を食べてみたり。「見る、匂う、さわる、聴く、食べる」ことをしながら、体で感じてもらうご案内をしました。ヤブカンゾウの春の新芽は私の一押し☆想像以上に美味！と知ってくださり、森のうさぎ気分で皆さんとむしゃむしゃいただきました。

ですが、楽しい森歩きができるのも保全活動があってこそですね！皆さんを森案内をしながらそんな気持ちを噛みしめていた観察会でした。

ヤブカンゾウを食すー



森は花盛り！

5月から6月にかけても森は花盛りです。これから見られるお花や木の実を紹介させていただきますね！



ひつつく葉っぱのモチツツジ



虫達のレストランハルジオン



くさはら広場で目立つタニウツギ



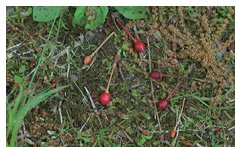
林冠トレイルで香るティカズラ



これが花なの！？ヒメコウゾ



ザブーンって聞こえる？オカカタナミソウ



足元にたくさん落ちるカスミザクラのサクランボ



森の宝石やー！クサイチゴの実



草庫の近くで咲くヒワコエビラフジ

これらは森に咲く花たちのほんの一部です。散策の気持ちの良い季節、ぜひお花見にいらしてくださいね！

遊林会 最新情報 発信中！

保全活動の様子やイベント情報など、最新情報を発信しています！ぜひフォローやお友達登録してくださいね！



<http://www.yurinkai.org/>



@satoyama.yurinkai



@485ooqnn



編集後記

新年度が始まり、幼稚園の遠足、1・2年生の校外学習、県のやまのこ学習、モリイコ！、夏休みのイベントにエコツアーと今年度の予定が確定しました。5月9日からやまのこ学習が始まり、その後は12月半ばまでノンストップで事業が進みます。スタッフみんなで協力し合い、「この森に来て良かった！また行きたい！」と言っていただけの対応を心がけたいと思います。（熊木）

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp